

現代
物故者事典
2021
〜
2023

凡 例

1. 構 成

本書は、日本人（5,189人）と外国人（783人）、2018～2020年版の補遺（1,228人：日本人893人、外国人335人）からなる。

2. 収録期間・典拠

- (1) 2021年（令和3年）1月1日から2023年（令和5年）12月31日までの3年間に死亡した内外の著名人を収録した。
- (2) 訃報の確認には国内の主要な新聞・雑誌・年鑑等を使用した。

3. 見出し

見出しは本名、別名（筆名、俳号、雅号等）を問わず一般に最も多く使用されているものを採用した。

見出しに採用しなかった人名のうち、有名な別名や訃報の見出しとなっていた人名などは適宜、参照見出しとした。

<例>

草山 万兎 くさやま・まと

⇒河合 雅雄（かわい・まさお）を見よ

(1) 日本人

- (a) 漢字の姓名には、現代かなづかいによる読みがな（ひらがな）を付記した。ただし、ぢ→じ、づ→ずそれぞれ統一した。
- (b) 氏名の表記に使用する漢字は、原則常用漢字、新字体に統一した。

(2) 外国人

- (a) 韓国・朝鮮人名は、韓国・朝鮮語音（民族読み）のカタカナ表記を見出しとし、漢字表記・英字表記が判明している場合は、それも付した。

(b) 中国人名は、原則漢字表記を見出しとし、日本で一般に広く知られている読みをカタカナで付した。英字表記が判明している場合は、それも付した。

(c) 漢字圏以外の外国人名は、姓名のカタカナ表記（倒置形）とし、日本で一般に広く知られている表記を採用した。英字表記が判明している場合は、それも付した。

4. 見出しの排列

- (1) 見出し人名は、姓・名をそれぞれ一単位とし、姓・名の順に読みの五十音順に排列した。敬称や、姓と名に分ち難い人名は、全体を姓とみなして排列した。
- (2) 外国人名に多い長音符（音引き）は排列上無視した。

5. 記載事項

原則、以下の順に記載した。

職業・肩書／^専専攻分野／^国国籍／^没没年月日、没年齢*〔死因〕／^生生年月日／^出出生・出身地／^名本名、旧姓・名、別名／^屋屋号／^学学歴・学位／^経経歴／^賞受賞名／^資資格／^団所属団体／^家家族／^師師匠

*没年齢は、原則として満年齢を採用した。

6. 補 遺（2018～2020）

前版刊行後に死亡が判明した人物のうち、2018年1月1日から2020年12月31日までの3年間に死亡した内外の著名人を収録した。

日展会員、平成4年評議員を務めた。彫刻一筋に研鑽を重ね、国内最大の彫刻団体である日彫会の運営委員を務めた。金沢美術大学名誉教授、北陸日彫会顧問、石川県美術文化協会参事として後進の指導に尽くした。
◎紺綬褒章〔平成13年〕、北国文化賞〔平成5年〕、石川県文化功労賞〔平成11年〕、金沢市文化賞〔平成13年〕、地域文化功労者文部科学大臣表彰〔平成21年〕

石田 亘 いしだ・わたる ガラス工芸家 ◎令和5年(2023)3月11日 85歳〔肺炎腫〕 ◎昭和13年(1938) ◎大阪府 ◎昭和32年京都の染織圖案家・加納豊広塾に入塾。43年デザインスタジオを設立。60年ガラス工芸家の妻征希とともに鋳型を用いるガラス技法“パート・ド・ヴェール”の研究を始める。平成2年ガラス工房を設立、繊細な工芸作品を制作した。21年京都府指定無形文化財「鋳込み硝子」保持者に認定された。◎日本伝統工芸近畿展日本工芸会賞〔平成8年〕、日本伝統工芸近畿展大阪府教育委員会賞〔平成11年〕、日本伝統工芸展日本工芸会奨励賞〔平成12年〕 ◎京都府指定無形文化財保持者(鋳込み硝子)〔平成21年〕 ◎妻=石田征希(ガラス工芸家)、長男=石田知史(ガラス工芸家)

石谷 寛 いしたに・ひろし 三重大学名誉教授 ◎数学教育、応用数学 ◎令和4年(2022)7月7日 75歳〔肺腺がんと間質性肺炎〕 ◎昭和22年(1947)5月16日 ◎広島県 ◎京都大学理学部卒、京都大学大学院理学研究科博士課程退学 理学博士 ◎平成3~23年三重大学教育学部教授を務めた。

石堂 哲也 いしどう・つや 弘前大学名誉教授 ◎英米文学 ◎令和4年(2022)11月23日 76歳 ◎昭和21年(1946)10月28日 ◎青森県黒石市 ◎弘前大学人文学部文学科〔昭和44年〕卒、北海道大学大学院文学研究科英米文学専攻〔昭和46年〕修士課程修了 ◎弘前大学人文学部教授、平成18~24年人文学部長。14~20年東奥日報報道審議会委員も務めた。

石戸谷 忻一 いしとや・きんいち 医師 博陽会理事長 ◎令和3年(2021)5月14日 91歳 ◎青森県弘前市 ◎弘前大学医学部医学研究科修了 ◎弘前大学医学部医学研究科修了後、同学部非常勤講師などを経て、昭和36年弘前市に石戸谷皮膚科泌尿器科医院を開設して院長を務め、平成55年まで診療に当たった。4年から社会福祉法人博陽会理事長。同法人が運営する介護老人保健施設希望ヶ丘ホーム施設長も務めた。16年弘前大学後援会会長に就任、青森医学振興会副理事長なども務めた。

石橋 大吉 いしばし・だいきち 衆院議員 ◎令和4年(2022)8月26日 90歳〔急性肺炎〕 ◎昭和7年(1932)1月5日 ◎島根県安来市月坂町 ◎本名=石橋操(いしばし・みさお) ◎能義中(旧制)〔昭和24年〕卒 ◎安来市職員を経て、自治労中央本部執行委員、島根県本部委員長、島根県評議議長を歴任し、労働問題や人権・平和問題に取り組む。昭和61年衆院選旧島根全県区に社会党から出馬し、初当選。自民、社民、新党さきがけによる自らを連立政権時に、党の農政責任者として中海干拓・本庄工区の事業再開に反対し

た。平成8年社民党を経て、民主党結党に参加。同年の衆院選は比例区で当選。12年島根1区で落選。連続4期務め、衆院農林水産委員長などを歴任した。14年民主党島根県連代表を退き、政界を引退した。◎勲二等瑞宝章〔平成14年〕 ◎息子=石橋通宏(参院議員)

石浜 朗 いしはま・あきら 俳優 ◎令和4年(2022)7月26日 87歳〔老衰〕 ◎昭和10年(1935)1月29日 ◎東京都千代田区富士見町 ◎暁星高卒、立教大学文学部英米文学科〔昭和32年〕卒 ◎暁星高校1年在学中の昭和26年、松竹映画「少年期」の主役の少年募集に応募、1500人の中から選ばれてデビュー。以後、松竹専属で、美空ひばりと共演した「豆の踊子」(29年)や小林正樹監督「切腹」(37年)など多数の作品に出演。39年明治座公演「団々しい奴」出演を機に、舞台上のポイントを移し、新国劇に入団。一時芸能界を離れ、50年テレビ「白い華燭」でカムバック。テレビでは「水戸黄門」などの時代劇シリーズや、NHK大河ドラマ「竜馬がゆく」「おんな太閤記」など、幅広く活躍した。他の出演作に、映画「風立ちぬ」「筆子・その愛」、舞台「東宝歌舞伎」、テレビ「しのぶ」「夏の嵐」「はやぶさ新八御用帳」「八代将軍吉宗」など。日本映画俳優協会理事長の他、毎日映画コンクール選考委員や諮問委員も務めた。◎長女=石浜美希(俳優)

石原 昭利 いしはら・あきとし 電通副社長 ビデオリサーチ社長 ◎令和3年(2021)8月12日 94歳〔腎不全〕 ◎昭和2年(1927)1月18日 ◎福岡県北九州市 ◎東京大学法学部〔昭和23年〕卒 ◎昭和23年電通(現・電通グループ)に入社。49年電子計算室長、54年取締役、56年常務、62年6月専務を経て、平成元年副社長に就任。6年ビデオリサーチ社長、7年取締役相談役に退いた。

石原 都也 いしはら・いくや 三井生命保険常務 ◎令和5年(2023)2月13日 84歳〔慢性閉塞性肺疾患〕 ◎昭和13年(1938)5月20日 ◎慶応義塾大学法学部〔昭和38年〕卒 ◎昭和38年三井生命保険(現・大樹生命保険)に入社。平成5年取締役、8年常務を歴任。13年常任監査役。

いしはら・いずみ 漫画家 ◎令和3年(2021)2月17日 76歳〔病氣〕 ◎「中日新聞」の経済漫画など、1コマ漫画や4コマ漫画を描いた。◎中日マンガ大賞 ◎日本漫画家協会

石原 国利 いしはら・くにとし ナイロンザイル切断事故の当事者 ◎令和5年(2023)1月29日 92歳〔誤嚥性肺炎〕 ◎昭和5年(1930) ◎福岡県直方市 ◎東京の学生時代に本格的に登山を始め、卒業後は名古屋を拠点に山に懸けた。昭和30年1月北アルプスの前穂高岳東壁を登攀中にナイロンザイルが切れ、パートナーの1人が死亡するナイロンザイル切断事故が発生。当時出回り始めたばかりのナイロンザイルは軽く、氷点下でも凍りにくく、従来の麻製より強度があるとされていたが、ナイロン製でも岩の角で擦れた場合には切れやすい危険性があることを、現場での経験、実験結果を踏まえて訴えた。31~32年井上靖が自身を主人公のモデルとした小説「氷壁」を新聞で連載。映画やドラマにもなり、反響を呼んだ。48年通商産業省(現・経済産業省)がザイルの安全基準を調査研究する委員会を設置。2年後に安全基準を満たさなければ販

売できない「消費生活用製品安全法」の対象製品にザイルが加わった。

石原 慎太郎 いしはら・しんたろう 作家 東京都知事 衆院議員 参院議員 運輸相 ◎令和4年(2022)2月1日 89歳 ◎昭和7年(1932)9月30日 ◎兵庫県神戸市 ◎一橋大学法学部社会学科〔昭和31年〕卒 ◎大学在学中の昭和30年、戦後育ちの若者の奔放な姿を描いた小説「太陽の季節」で芥川賞を受賞して文壇に登場。31年に映画化された同作は弟裕次郎の俳優デビュー作となり、「太陽族」という流行語を生んだ。33年江藤淳、大江健三郎と若い日本の会を結成。43年体制内改革を唱えて参院選全国区に無所属で立候補し、トップ当選。自民党に入党し、47年以来衆院議員に8選。中川一郎と自民党内タカ派の青嵐会を創設し、中心メンバーとして活動。50年東京都知事選で美濃部知事に敗北。51年福田内閣の環境庁長官、62年竹下内閣の運輸相。中川派の幹事を務め、58年中川一郎の死去後、同派の会長代行に就任。その後安倍派、三塚派に所属。平成元年自民党総裁選に出馬するも落選。7年4月在職25年を区切りで衆院議員を辞職。11年無党派候補として24年振りに東京都知事選に立候補し、初当選、23年4選を果たす。都知事在任中は強い指導力を発揮し、外形標準課税導入やディーゼルの排ガス規制、羽田空港の国際化などを推進。一方、17年に都が1000億円出資した新銀行東京は経営難に陥り、追加出資で批判を浴びた。民主党政権下の24年4月には東京都による沖繩県尖閣諸島を購入する方針を打ち出し、政府が同年9月に尖閣国有化に踏み切る契機となった。22年新党たちあがれ日本の発起人となる。24年10月国政への復帰を宣言して都知事辞任を表明。11月たちあがれ日本を衣替える形で太陽の党を結党、平沼赳夫と共同代表になったが、間もなく橋下徹率いる日本維新の会に合流。維新の会代表に就任し、12月衆院選では民主党・自民党に対する第三極として支持を集め、民主党に次ぐ第3党の地位を確保。自身も比例区で国政に再び戻った。26年8月自主憲法制定を基本政策に掲げる次世代の党を結成し最高顧問に就任。12月の衆院選では自ら比例名簿の最下位を選んで落選し、政界を引退した。衆院議員通算9期。政治活動の傍ら、作家としても精力的に活動。平成元年ソニー創業者盛田昭夫との共著「NOと言える日本」が反米的だとして米国会で話題になり、ベストセラーに。8年裕次郎との思い出などを綴った小説「弟」がミリオンセラーを記録。7~24年芥川賞選考委員。28年には田中角栄元首相の生涯を一人称形式で振り返った「天才」がベストセラーとなった。◎旭日大綬章〔平成27年〕、文学界新人賞(第1回)〔昭和30年〕「太陽の季節」、芥川賞(第34回)〔昭和31年〕「太陽の季節」、芸術選奨文部大臣賞(第21回)〔昭和45年〕「化石の森」、平林たい子文学賞(第16回)〔昭和63年〕「生還」、イエローリボン賞〔昭和63年〕、毎日出版文化賞特別賞(第50回)〔平成8年〕「弟」、正論大賞(第15回)〔平成11年〕、財界賞特別賞〔平成12年〕、経済界大賞(第27回)〔平成13年〕、海洋文学大賞特別賞(第6回)〔平成14年〕 ◎日本ペンクラブ、日本文芸家協会 ◎長男=石原伸晃(衆院議員)、二男=石原良純(俳優)、三男=石原宏高

(衆院議員)、父=石原潔(山下近海汽船常務)、母=石原光子、弟=石原裕次郎(俳優)

石原 太流 いしはら・たいりゅう 書家 玄潮会会長 ◎令和3年(2021)10月21日 78歳〔肝不全〕 ◎昭和18年(1943)4月21日 ◎山梨県北都留郡上野原町(上野原市) ◎本名=石原徹(いしはら・つよし) ◎昭和43年徳野大空に師事。平成12年より神奈川書家三十人展に出品。17年東京銀座画廊・美術館で初個展を開催。25年に開催した第2回石原太流書展により毎日書道顕彰(芸術部門)。16年玄潮会理事長、22年会長を歴任。毎日書道展運営委員、選考委員、毎日書道会参事を務め、後進の育成にも努めた。◎毎日書道顕彰(芸術部門)〔平成25年〕 ◎師=徳野大空

石原 信雄 いしはら・のぶお 内閣官房副長官 自治事務次官 ◎地方財政、公務員制度、行政組織 ◎令和5年(2023)1月29日 96歳〔多臓器不全〕 ◎大正15年(1926)11月24日 ◎群馬県佐波郡剛志村(伊勢崎市) ◎東京大学法学部政治学科〔昭和27年〕卒 ◎昭和27年地方自治庁(のち自治省、現・総務省)に入庁。51年官房審議官、55年税務局長、56年官房長、57年財政局長、59年事務次官を歴任。61年地方自治情報センター理事長を経て、62年11月竹下登内閣で事務方トップの内閣官房副長官に就任。以来、宇野宗佑、海部俊樹、宮沢喜一、細川護国、羽田孜、村山富市と歴代最多の7内閣にわたって在職。時の政権の政治判断に強い影響力を振ったことから“影の首相”との異名ももった。約7年3ヶ月の在職中、昭和天皇の逝去と元号“平成”の制定を事務方として取り仕切ったほか、平成元年消費税導入、4年国連平和維持活動(PKO)協力法の作成・成立、5年慰安婦問題への旧日本軍の関与を認めた河野洋平官房長官談話作成、7年阪神・淡路大震災の復旧・復興などを担当した。同年2月退任。同年4月東京都知事選に自民党、社会党などの各党相乗りで立候補するも、青島幸男に敗れる。同年7月ボランティア団体・災害救援ボランティア推進委員会を設立。8年国土空間データ基盤推進協議会会長、同年埼玉県産業文化センター理事長。のち日本広報協会会長、地方自治研究機構理事長、同会長、同名誉会長、国会等移転審議会会長代理、野村証券顧問などを歴任した。著書に「官かあるべし」「権限の大移動」などがある。◎勲一等旭日大綬章〔平成12年〕 ◎息子=石原一彦(内閣府審議官)

石原 典子 いしはら・のりこ 石原慎太郎東京都知事の妻 ◎令和4年(2022)3月8日 84歳 ◎昭和13年(1938)1月1日 ◎広島県 ◎本名=石原由美子(いしはら・ゆみこ) ◎旧姓・名=石田由美子 ◎慶応義塾大学法学部卒 ◎高校卒業時に幼なじみで新進作家だった石原慎太郎と結婚、4男をもうけた。子育て後に受験勉強をし、昭和47年慶応義塾大学法学部に入学。東京都知事や衆院議員を務めた夫の政治活動も支えた。著書に「妻がシルクロードを歩むるとき」「君よわが妻よ 父 石田光治少尉の手紙」がある。長男は自民党幹事長を務めた伸晃、二男は俳優でタレントの良純、三男は自民党衆院議員の宏高、四男は画家の延啓。◎夫=石原慎太郎(作家・東京都知事)、長男=石原伸晃

26日 81歳(肺炎患) ◎昭和15年(1940)5月4日 ◎山梨県甲府市 ◎慶応義塾大学法学部(昭和38年)卒 ◎大学卒業後、父の経営する精麦会社の坂本産業に入社。昭和47年オーディオショップの経営に乗り出すが失敗。甲府で倉庫業を営む傍ら、中古ピアノや化粧品の販売など様々な小売業に携わる。平成2年古本販売の1号店を神奈川県相模原市に開業。3年中古書籍販売のザ・アール(現・ブックオフコーポレーション)を設立、社長に就任。古本屋をフランチャイズ形式で運営、マニュアル化で本の買い取りに「目利き」を必要とせず、アルバイトで対応できるようにして一大チェーンに成長させた。16年優れた実業家を表彰するアントレプレナー・オブ・ザ・イヤー日本代表に選出。17年東証第一部に上場。18年パート出身の橋本真由美を社長に抜擢し、自身は会長に退く。19年不正会計問題などの責任を取り辞任。23年立ち飲み店、俺のイタリアンを東京・新橋にオープン。立ち飲みで回転率を高め、高級料理を低価格で提供する事業に商機を見出し、24年俺のフレンチ・俺のイタリアン(現・俺の)を設立。令和2年から名誉会長を務めた。

坂本 堯 さかもと・たかし 聖マリアンナ医科大学名誉教授 ◎宗教学、医学的心理学 ◎令和3年(2021)2月10日 93歳 ◎昭和2年(1927)4月13日 ◎兵庫県 ◎上智大学大学院(昭和35年)修士課程修了、聖ゲオルク神学哲学大学(西独) [昭和38年] 卒、ケルン大学(西独) 大学院哲学専攻 [昭和43年] 博士課程修了 Ph.D. ◎昭和43年より上智大学に勤務し、45年助教、キリスト教文化研究所所長、47年独教医科大学教授を経て、49年聖マリアンナ医科大学教授。平成5年同大名誉教授、明海大学客員教授。著書に「カトリックと日本人」「西洋思想史」、訳書に「モントッソーリ「人間の形成について」、共訳に「クザンス「隠れたる神」など。

坂本 忠雄 さかもと・ただお 編集者 「新潮」編集長 ◎令和4年(2022)1月29日 86歳 [心不全] ◎昭和10年(1935)4月15日 ◎山口県下関市 ◎慶応義塾大学文学部独文専科 ◎昭和34年新潮社に入社、「新潮」編集部に所属。56年～平成7年同誌編集長を務めた。10年退社。川端康成や小林秀雄、石原慎太郎ら多くの作家を担当した。著書に「文学の器」「小林秀雄と河上徹太郎」、石原との共著に「昔は面白かったな回想の文壇交友録」がある。開高健記念会会長も務めた。 ◎三田文学会

酒本 千恵子 さかもと・ちえこ 声楽家(ソプラノ) ◎令和4年(2022)10月19日 88歳 [間質性肺炎] ◎東京都 ◎声楽家の四家文子らに師事し、数々の演奏会に出演した。 ◎師=四家文子

坂本 千尋 さかもと・ちひろ 岩国基地の拡張・強化に反対する広島県住民の会共同代表 ◎令和4年(2022)6月5日 69歳 [急性心筋梗塞] ◎広島県広島市東区 ◎平成17年結成した岩国基地の拡張・強化に反対する広島県西部住民の会(30年岩国基地の拡張・強化に反対する広島県住民の会)に変更の事務局長を務め、29年から共同代表を兼務した。

坂本 鉄男 さかもと・てつお ナポリ東洋大学教授 ◎イタリア語学、日伊比較語学、日伊比較文化論 ◎

令和4年(2022)4月28日 92歳 ◎昭和5年(1930)3月 ◎神奈川県小田原市 ◎東京外国語大学外国語学部イタリア語学科卒 ◎東京芸術大学音楽学部講師、東京外国語大学外国語学部助教などを歴任。昭和46年よりイタリア国立ナポリ東洋大学政治学教授。平成14年退任後もローマに在住。1970年代半ばから令和2年まで産経新聞の嘱託でイタリアやパチカン市国に関するコラムを執筆。日伊友好協会副会長も務めた。昭和58年日伊文化交流への貢献で、イタリアよりコンメンダトール勲章を授与されるなど、在伊邦人の間で広く知られた。著書に「イタリア語の入門」「現代イタリア文法」「標準イタリア会話」「チャオ! イタリア」「ピバ・イタリア」「和伊辞典」「伊和・和伊小辞典」「イタリア・歴史の旅」、訳書にトンマーン・カンパネラ「太陽の都・詩編」など。 ◎コンメンダトール勲章(イタリア) [昭和58年]、勲三等瑞宝章 [平成12年]

阪本 敏三 さかもと・としぞう プロ野球選手 ◎令和4年(2022)3月22日 78歳 [パーキンソン病] ◎昭和18年(1943)7月13日 ◎京都府京都市伏見区 ◎平安高卒、立命館大学卒 ◎立命館大学時代に7季連続で盗塁王となる。河合楽器を経て、昭和41年のドラフトで阪急(現・オリックス)に指名され、42年入団。プロ1年目から西本幸雄監督の下、2番遊撃で起用され、同年球団初のリーグ優勝に貢献。43年50盗塁をマーク、44年に47盗塁で盗塁王を獲得。職人肌の内野手として同球団の黄金期を支えた。47年東映フライヤーズ(のち日拓ホームフライヤーズ、現・日本ハム)に移籍。51年近鉄(現・オリックス)、54年南海(現・ソフトバンク)に転じる。43年から4年連続でベストナインに選出。実働14年の通算成績は、1447試合出場、4796打数1303安打、204二塁打、97本塁打、449打点、243盗塁、打率.272。引退後、59年から近鉄でコーチを務めた。

坂本 俊文 さかもと・としゆき ミレー島で戦没者の遺骨収集 ◎令和3年(2021)12月26日 79歳 [肺腺がん] ◎太平洋戦争の激戦地マージナル諸島共和国のミレー島で戦死した父幹夫さんの慰霊で、昭和47年戦後初の民間慰霊団に参加。平成9年に亡くなった末村良雄の後を継ぎ、10年以降は12～15次団長として旧日本兵の遺骨調査と収集を進めた。慰霊団終了後も、国や島民と協力して遺骨収集を続け、23年までに101柱を持ち帰った。うち1柱は輪島市の遺族の元へ戻った。 ◎北国風賞賞 [平成15年]

坂本 博 さかもと・ひろし 安藤建設専務 ◎令和4年(2022)3月9日 90歳 [肺炎] ◎昭和7年(1932)1月8日 ◎東京都 ◎栃木高卒、早稲田大学商学部 [昭和30年] 卒 ◎昭和30年安藤組(のち安藤建設、現・安藤ハザマ)に入社。56年取締役、62年常務を経て、平成3年専務に就任した。

坂本 博士 さかもと・ひろし 声楽家(バリトン) 作曲家 サカモト・ミュージック・スクール校長 ◎音楽教育 ◎令和4年(2022)12月3日 90歳 [誤嚥性肺炎] ◎昭和7年(1932)3月28日 ◎東京都神田区(東京都千代田区) ◎東京芸術大学声楽科 [昭和29年] 卒 ◎昭和29～42年自由学園中学校・高校・大学の音楽教師を務める。32年バリトン歌手として、藤原歌劇団公演のオペラ「ラ・ボエーム」マルチェロ役でデビュー。38年NHK「歌おう世界の友よ」に1年間

司会と歌でレギュラー出演。40年サカモト・ミュージック・カンパニー社長を経て、44年サカモト・ミュージック・スクールを開校。後進の育成に尽力したほか、作曲家としてミュージカル「小島になったライオン」「らくたい天使ペンキィ」「ロン・ひとっばちのおおかみ」を製作。歌曲、合唱曲などの作曲も手がけた。他の作曲に、平成23年の東日本大震災復興の為に「絆三部作」など。著書に「見はてぬ夢―はかせの音楽談義」がある。 ◎芸術祭賞奨励賞 [昭和42年]、芸術祭賞優秀賞 [昭和45年]、文化庁長官表彰 [平成27年] ◎長男=坂本秀明(声楽家) ◎師=城多又兵衛、ヘッサート、リア・フォン

坂本 正夫 さかもと・まさお 高知県立歴史民俗資料館館長 ◎令和5年(2023)9月7日 89歳 (慢性呼吸不全急性増悪) ◎昭和8年(1933) ◎高知県吾川郡に滝川町 ◎高知県内の公立高校教諭を経て、平成11～18年高知県立歴史民俗資料館長。高知県出版文化賞選考委員長なども務めた。編著に「土佐の川舟民俗誌」「土佐の昔話」など。

坂本 松雄 さかもと・まつお 徳島県副知事 ◎令和5年(2023)1月25日 84歳 ◎昭和13年(1938)5月21日 ◎徳島県板野郡北島町 ◎岡山大学法文学部法科学科卒 ◎昭和40年徳島県に入庁。61年県教委国体準備室長、のち県秘書広報課長、企画調整部長などを経て、平成4年国体局長、6年県教育長、のち出納長、11年副知事。14年4月退職。 ◎瑞宝中綬章 [平成21年]

坂本 満津夫 さかもと・まつお 作家 文芸評論家 ◎令和4年(2022)5月8日 90歳 ◎昭和6年(1931)11月5日 ◎栃木県宇都宮市 ◎本名=坂本松男(さかもと・まつお) ◎昭和33年月刊福井に入社、のち社長。「日本海作家」同人。文芸評論家として高見順をはじめ、戦後の日本文学を論じた。著書に「余った頁から」「涼風熱思 断片的作家論」「テレビ文庫一酔中狂想」「高見順論―魂の粉飾決算」「小説家・津村節子」「文士・高見順」「私小説の「嘘」を読む」「昭和文学の傷痕」など。 ◎日本文芸家協会

坂本 美代子 さかもと・みよこ 水俣病関西訴訟原告 ◎令和4年(2022)3月 86歳 ◎水俣市から大阪に移住した後、国と熊本県、原因企業チッソに損害賠償を求めた水俣病関西訴訟に参加。平成21年患者認定されるも、同訴訟での勝訴を理由にチッソが補償を拒否。独自に交渉を続けた。19年多田諛子反権力人権賞を受賞。 ◎多田諛子反権力人権賞(第19回) [平成19年]

坂元 守雄 さかもと・もりお 写真家 自然保護活動家 ◎令和3年(2021)8月25日 89歳 ◎昭和7年(1932) ◎宮崎県都城市庄内町 ◎宮崎銀行勤務の傍ら、アマチュア写真家として風景を撮り続ける。一方、少年時代を過ごした霧島山麓の照葉樹林に強い愛着を持つ。照葉樹が切り倒され、自然が荒廃していくのを目にし、昭和63年定年退職後の平成元年から自然環境をテーマにした雑誌「みやざきの自然」を創刊。大学や在野の研究者たちに執筆を依頼し自然科学、野外活動、環境問題、文芸、読者欄を基本軸に年2回発行を

続け、環境保護を訴えた。14年第20号の刊行をもって終刊。写真集に「後川溪谷」がある。

坂本 寧 さかもと・やすし 洋画家 坂本善三美術館名誉館長 ◎令和5年(2023)12月2日 93歳 [誤嚥性肺炎] ◎昭和5年(1930) ◎熊本県菊池郡大津町 ◎熊本大学医学部 [昭和30年] 卒、熊本大学大学院医学研究科 [昭和36年] 修了 医学博士(熊本大学) [昭和36年] ◎昭和22年旧制大津学校時代から洋画家・坂本善三に師事。熊本県小川町(現・宇城市)で医院を開業し、地域医療に貢献する傍ら、洋画家として活動。国内外で作品を発表した。一方、坂本善三美術館建設に尽力し、平成7年同館館長に就任。20年より名誉館長を務めた。 ◎熊本県立美術館友会の会賞(第1回) [昭和59年]、信友会賞 [平成12年]、くまもと県民文化賞(第12回) [平成13年] ◎師=坂本善三

坂本 雄一 さかもと・ゆういち 陸上自衛隊第8師団長 ◎令和5年(2023)4月 55歳 ◎北海道旭川市 ◎防衛大学校 [平成3年] 卒 ◎平成3年陸上自衛隊に入る。広報室長、令和3年第12旅団長などを経て、5年3月陸自隊員の中で25人しかいない最高位の階級に昇任し、第8師団長に就任。同年4月陸自隊員10人と搭乗していたヘリコプターが消息を絶ち、沖繩・伊良部島沖の海底で発見され、その後死亡が確認された。

坂本 龍一 さかもと・りゅういち 音楽家 ◎作曲、作詞、編曲 ◎令和5年(2023)3月28日 71歳 [がん] ◎昭和27年(1952)1月17日 ◎東京都中野区 ◎グループ名=YMO ◎東京芸術大学大学院音響研究科 [昭和51年] 修士課程修了 ◎父は河出書房の純文学編集者坂本一也。3歳からピアノを始め、10歳より松本民之助に師事し作曲を学ぶ。クラシックを土台にしたながらも、東京芸術大学作曲科入学後は電子音楽、民族音楽に傾倒。在学中にスタジオミュージシャンとして活動を開始。昭和53年初のソリアルバム「千のナイフ」を発表。同時期に細野晴臣のアルバム「はらいそ」のレコーディングに参加したのを機に細野、高橋幸宏とともにYMO(イエロー・マジック・オーケストラ)を結成。シンセサイザーを駆使した電子音楽「テクノ・ポップ」で注目を集め、53年デビューアルバム「イエロー・マジック・オーケストラ」を発表。54年大ヒットした「ライディーン」「ビハインド・ザ・マスク」を含むセカンドアルバム「ソリッド・ステイト・サヴァイバー」は100万枚を超えるセールスを記録。54～55年初の世界ツアーを開催。もみ上げをそり落とした髪形「テクノカット」など、ファッション面でも当時の若者に大きな影響を与えた。57年忌野清志郎とシングル「い・け・な・い・ルージュマジック」をリリース。58年YMOが「散開」(解散)。1990年代以降、何度か再結成。一方、58年デビッド・ボウイ、ビートたけしと共演した大島渚監督の映画「戦場のメリークリスマス」では音楽も担当し、英国アカデミー賞作曲賞を受賞。62年ベルナルド・ベルトルッチ監督の「ラストエンペラー」にも出演し、同作の音楽で日本人初の米国アカデミー賞作曲賞などを受賞。以降、映画音楽の作曲家としての名声が高まり、平成元年ヴァージン・レコード・アメリカに移籍。2年から米国ニューヨークを拠点に活動。4年パルセロナ五輪開会式のオープニング・セレモニーの音楽の一部を手がけ、会場ではオーケストラも指揮。11年自身初となるオペラ「LIFE」を公演。製薬会社三共のCMのピアノソロ曲「エナジー・

への献身を貫いた。53年陸海空3軍の元帥に就任。57年フィリップ殿下の称号を得る。76年～2011年ケンブリッジ大学総長。約800に及ぶ団体の後援者や代表を務め、環境保護活動に熱心に取り組み、世界自然保護基金(WWF)総裁(1981～96年)のほか、各種動物愛護協会会長を務めた。97年には長崎県諫早湾の干潟の保全を求める内容の親書を橋本首相宛に送った。またスポーツマンとして知られ、56年には若者のレジャー活動を促進するため、エディンバラ公賞をもうけた。2017年8月96歳の時に海兵隊の慈善パレードに出席したのを最後に公務を引退。著書に「ブリクニアの鳥」「国土に依存して生きる」など。1975年エリザベス女王とともに国賓として初来日。89年昭和天皇の大喪の礼に参列。97年WWF名誉総裁として来日したのが最後となった。◎妻＝エリザベス2世、長男＝チャールズ皇太子、長女＝アン王女、二男＝アンドルー王子、三男＝エドワード王子、孫＝ウィリアム王子、ヘンリー王子

エバリー, ドン Everly, Don カントリー歌手 ◎米国 ◎2021年8月21日 84歳 ◎1937年2月1日 ◎米国ケンタッキー州ミューレンバーク郡ブラウニー ◎本名＝エバリー, アイザック・ドナルド(Everly, Isaac Donald), デュオ名＝エバリー・ブラザーズ(Everly Brothers) ◎両親とともに歌手という音楽一家に生まれ、1940年代から弟のフィル・エバリーとともにカントリー・デュオ「エバリー・ブラザーズ」として音楽活動を開始。50～60年代を中心に「ウエイク・アップ・リトル・スージー」「パイ・パイ・ラブ」「ノール・アイ・ハブ・トゥー・ドゥ・イズ・ドラム」などのヒット曲を残した。また、初期のビートルズが、自らを“英国のエバリー・ブラザーズ”と呼ぶなど、多くのミュージシャンに影響を与えた。73年にデュオを解散し、ソロ活動を開始。エミルー・ハリスと「ブルー・ケンタッキー・ガール」をレコーディングした。83年ロンドンのロイヤル・アルバート・ホールで再結成コンサートを開催し、翌年アルバム「EB 84」をリリース。後年、デュオでサイモン&ガーファングルのツアーに参加。86年エバリー・ブラザーズとしてロックの殿堂入り、2001年にはカントリーミュージックの殿堂入りを果たす。14年弟のフィルが死去。15年「ロッキング・ストーン」誌が選ぶ「史上最も偉大な20のデュオ」の第1位にランクイン。ドンは、1957年のヒット曲「ウエイク・アップ・リトル・スージー」の特徴的なリズムギターのイントロで、2019年に音楽家の殿堂博物館に殿堂入りし、同組織初のアイコンック・リッファを受賞した。◎弟＝エバリー, フィル(カントリー歌手)

エリザベス2世 エリザベス2セイ Elizabeth II 英国女王 ◎英国 ◎2022年9月8日 96歳 ◎1926年4月21日 ◎英国ロンドン ◎本名＝エリザベス・アレクサンドラ・マリアー(Elizabeth Alexandra Mary) ◎ヨーク公(のちの英国王ジョージ6世)と母エリザベス(同エリザベス王妃)の第1王女。1936年伯父の国王エドワード8世が離婚歴のある米国人シン普森夫人との結婚を選んで退位したため、父ジョージ6世として即位。47年11月20日ギリシャ王室の血を引くフィ

リップ・マウントバッテン大尉(エディンバラ公)と結婚。長男のチャールズ皇太子、長女のアン王女、二男のアンドルー王子、三男のエドワード王子が誕生。52年2月6日父王の死去により王位継承を宣誓、53年6月2日戴冠。英国君主として63代目、6人目の女王となる。イギリス連邦の結合の象徴として世界各地を精力的に訪問し、王室外交を推進。75年5月英国元首として初めて訪日。86年10月訪中。97年9月チャールズ皇太子の元妻ダイアナ元妃の葬儀では生中継のテレビに出演し、異例のスピーチを行った。2007年12月20日英国史上最高齢の君主となる。10年ローマ教皇ベネディクト16世と公式会談、カトリックと英国国教会の470年ぶりの和解となる歴史的出来事となった。11年5月英国君主として100年ぶりにアイルランドを訪問。21年4月73年間連れ添ったフィリップ殿下が99歳で死去。22年6月在位70周年を祝う祝賀行事「プラチナ・ジュビリー」が行われた。同年9月滞在先のスコットランドのバルモラル城で96歳で死去。在位70年7ヶ月は英国の君主として歴代最長で、世界の存命中の君主でも最長だった。在位期間中に英国の衰退や王室スキャンダルを体験したが、その気品と勤勉さ、一貫して一般市民に寄り添う姿勢から国民の人気は高かった。日本の皇室との交流は、昭和天皇、上皇さま、天皇陛下と3世代にわたって続いた。◎父＝ジョージ6世、母＝エリザベス王妃、夫＝エディンバラ公、長男＝チャールズ3世、長女＝アン王女、二男＝アンドルー王子、三男＝エドワード王子、孫＝ウィリアム王子、ヘンリー王子

エルズバーク, ダニエル Ellsberg, Daniel 核戦略専門家 平和運動家 米国国防次官補補佐官 ベンタゴン・ペーパーズの告発者 ◎米国 ◎2023年6月16日 92歳 [藤蔭がん] ◎1931年4月7日 ◎米国イリノイ州シカゴ ◎ハーバード大学経済学部 [1952年] 卒, ケンブリッジ大学 博士号(ハーバード大学) [1959年] ◎英国のケンブリッジ大学に留学後、1954年米国海兵隊に志願。57年中尉で退役し、母校ハーバード大学に戻った。59年シンクタンクのランド研究所に入って戦略アナリストとなり、ハーバード大学で博士号を取得。64年国防総省(通称・ペンタゴン)に移ってマクノートン国防次官補の補佐官となり、65年ベトナム戦争にゲリラ対策顧問として参加し実戦も経験。67年ポーター次席大使の下でベトナム戦争の平定計画担当補佐官となったが、米国のベトナム政策に批判的となり、タカ派からハト派に転向。同年7月に帰国してランド研究所に復帰した。71年国防総省のベトナム戦争への介入に関する約7000ページの秘密文書(ペンタゴン・ペーパーズ)を「ニューヨーク・タイムズ」や「ワシントン・ポスト」などに提供。歴代政権がベトナム戦争の泥沼化を隠蔽し、戦争を拡大したことを暴露した。当時のニクソン政権によってスパイ行為などの罪で起訴されたが、連邦地裁は73年に公訴棄却を決定。この告発はベトナム反戦運動の機運が高まる一因にもなった。その後は軍縮の研究を続けながら反戦・反核運動に参加。イラク戦争や米国の対イラン軍事行動、ロシアのウクライナ侵襲にも強く反対した。◎ガンジー平和賞 [1978年], ライト・ライブラフィッド賞 [2006年], ドレスデン平和賞 [2016年]

エルダー, リー Elder, Lee プロゴルフアー アフリカ系アメリカ人初のマスターズ出場 ◎米国 ◎2021年11月29日 87歳 ◎1934年7月14日 ◎米国テキサ

ス州グラス ◎10人きょうだいの末っ子。第二次大戦のため9歳で父を、3ヶ月後に母を失い、伯母に育てられた。米陸軍に従軍した時、ゴルフ好きの上官との出会いを機にキャディーをしながらゴルフの腕を磨き、25歳でプロ選手に転向。アフリカ系アメリカ人のツアーであるUGAでプレー。173センチと小柄ながら、出場22大会のうち18勝を挙げる。1974年米男子ツアー(PGA)で初勝利し、翌75年メジャー大会のマスターズに招待される。結果は予選落ちだったが、アフリカ系アメリカ人初のマスターズ出場は、後のオーガスタ・ナショナルGCのアフリカ系アメリカ人会員受け入れや、97年のタイガー・ウッズ初優勝などに繋がった。PGAツアーでは通算1勝で、6度出場したマスターズの最高成績は79年の17位。メジャー大会の全米オープンと全米プロ選手権は11位が最上位だった。2021年4月のマスターズでは名手ジャック・ニクラウス、ゲリー・プレーヤーとともに始球式にあたる“名誉スターター”を務めた。

エルナンデス, ウィリー Hernández, Willie 大リーグ選手 ◎プエルトリコ ◎2023年11月20日 69歳 ◎1954年11月14日 ◎プエルトリコ・アグアダ ◎本名＝Hernández Villanueva, Guillermo ◎1974年フィリーズに入団。77年カプスでメジャーデビュー。再びフィリーズを経て、84年タイガースに転籍すると、80試合に登板し9勝3敗32セーブ、防御率1.92という好成績を残し、サイ・ヤング賞とMVPをダブル受賞。同年のワールドシリーズでも好投し、チームの世界一に貢献した。タイガースで守護神としての地位を確立し、84年から3年連続でオールスターに選出。13年間の現役生活のほとんどを左の救援投手として過ごした。通算成績は、744試合登板、70勝63敗147セーブ、防御率3.38。◎アリーグMVP [1984年], サイ・ヤング賞 [1984年]

エルバズ, アルベール Elbaz, Alber ファッションデザイナー ◎イスラエル ◎2021年4月24日 59歳 [新型コロナウイルス感染症] ◎1961年6月12日 ◎モロッコ・カサブランカ ◎シェンカー工科大学(デザイン), ◎モロッコのカサブランカで生まれ、イスラエルのテルアビブで育つ。テルアビブの服飾デザイン学校を卒業。1989年よりニューヨークでジェフリー・ビーンのアシスタントとして勤めた後、96年からパリに本拠を移し、ギ・ラロッシュで主任デザイナーを務める。98年パリのファッション界の御所イブ・サンローランが後継デザイナーとして指名し、99年の秋冬物パリ・コレクションからブレタホルテのデザインを担当。2001年ランバンのクリエイティブ・ディレクター(のちにアーティスティック・ディレクター)に就任。ランコムやH&Mと協業するなど、低迷していた老舗ブランドの復活に貢献した。16年の春夏コレクションを最後に退任。19年リシモングループと共同でAZ/ファクトリーを設立し、21年新ブランドを発表。ドレーブなどを駆使した優雅で革新的な作風で知られた。◎レジオン・ド・ヌール勲章シュバリエ章 [2007年], レジオン・ド・ヌール勲章オフィシエ章 [2016年]

エルンスト, リヒャルト Ernst, Richard 化学者 スイス連邦工科大学名誉教授 ノーベル化学賞

受賞者 ◎スイス ◎2021年6月4日 87歳 ◎1933年8月14日 ◎スイス・ビンタートツール ◎本名＝Ernst, Richard Robert ◎スイス連邦工科大学化学科 [1956年] 卒 物理化学博士(スイス連邦工科大学) [1962年] ◎1963～68年米国カリフォルニア州パロアルトのバリアン協会研究員。68年スイス連邦工科大学(ETH)私講師となり、70年助教授を経て、76～98年教授。60年代に生体の精密診断などに使われる“核磁気共鳴装置(NMR)”の解像度を飛躍的に向上させる理論を確立、広い分野への応用を可能にした。これらの業績により、91年ノーベル化学賞を受賞。研究は医学上重要な“磁気共鳴画像法(MRI)”の基礎作りにも大きく貢献したとされる。◎医療核磁気共鳴学会メダル, ウォルフ化学賞 [1991年], ルイザ・グロス・ホロウィッツ賞 [1991年], ノーベル化学賞 [1991年] ◎欧州アカデミー会員, 米国科学アカデミー会員, ロイヤル・ソサエティ会員

袁隆平 エン・リュウヘイ Yuan Long-ping 農学者 ◎水稲交配, ハイブリッド米 ◎中国 ◎2021年5月22日 90歳 ◎1930年9月7日 ◎中国江西省徳安県 ◎西南農学院農学系 [1953年] 卒 ◎6歳の時、湖北省武漢市郊外の園芸場を見学し、農業に興味を持つ。湖南省の安江農業学校教師だった1950年代後半、毛沢東主導の大増産運動“大躍進”などの影響による農村の飢饉を目の当たりにしたことがきっかけで、64年水稲交配の研究を開始。73年一般米より約20%収量が多いハイブリッド米の実用化に世界で初めて成功、中国の水稲交配を世界最先端に立たせた。半世紀以上にわたってコメの収量増に向けた品種改良に携わり、中国の食糧問題の解決に貢献。“ハイブリッド米の父”“水稲交配の父”と呼ばれた。2001年中国の食糧事情改善に貢献したとして、“中国のノーベル賞”といわれる中国最高科学技術賞を受賞。06年には中国農業分野で初めて米国科学アカデミー会員に選出される。18年中国で研究者に与えられる最も権威のある賞の一つ、未来科学大賞を受賞した。湖南省雑交水稲研究センター主任、中国人民政治協商会議常務委員会委員、湖南省政治協商会議副会長の務めた。◎中国科学技術委員会特等發明賞 [1981年]「籼(うるち)型水稲交配”, WIPO(国連世界知的所有権機関金賞) [1985年], ユネスコ科学賞 [1987年], 日経アジア賞(技術開発部門, 第1回) [1996年], 中国最高科学技術賞 [2001年], 未来科学大賞 [2018年] ◎米国科学アカデミー会員 [2006年]

エンジ, マイク Enzi, Mike 政治家 実業家 米国内閣議員(共和党) ◎米国 ◎2021年7月26日 77歳 ◎1944年2月1日 ◎米国ワシントン州ブレマートン ◎本名＝エンジ, マイケル・ブラッドリー(Enzi, Michael Bradley) ◎ジョージ・ワシントン大学 [1966年] 卒, デンバー大学大学院 [1968年] 修士課程修了 ◎1969～96年NZシューズ社長を務める。一方、87～91年ワイオミング州下院議員、91～96年同州上院議員

現代物故者事典 2021～2023

2024年4月25日 第1刷発行

発行者／山下浩

編集・発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

電算漢字処理／日外アソシエーツ株式会社

印刷・製本／株式会社平河工業社

不許複製・禁無断転載

〈中性紙北越淡クリームキンマリ使用〉

〈落丁・乱丁本はお取り替えます〉

ISBN978-4-8169-3004-1

Printed in Japan, 2024

本書はデジタルデータでご利用いただくことができます。詳細はお問い合わせください。